

WIN・ワールドワイド・サーベイ2022  
**「生活費に関する世論調査」**  
36カ国・地域グローバル調査

調査結果

2023年2月9日  
株式会社 日本リサーチセンター

## ◆「WWS(WIN Worldwide Survey)」レポート

株式会社日本リサーチセンター（本社：東京都墨田区、代表取締役社長 杉原領治）が加盟しているWIN（Worldwide Independent Network Of Market Research）では、2022年10月から12月にかけて世界36カ国・地域の18歳以上の個人を対象に国際世論調査「WINワールドワイド・サーベイ」を実施しました。

この度、その調査結果がリリースされましたので、日本版レポートを発表いたします。ご高覧いただければ幸いです。

注1：比率（%）は、各国の人口に比例した重みを付けて集計を行っています（ウエイト集計）

注2：比率（%）は、四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならないところもあります

注4：国・地域を一部「国」と略して表記しています

「WIN・ワールドワイド・サーベイ」は、社会やビジネスに関連するトピックについての人々の考え・期待・懸念等を把握する目的で、毎年実施される調査です。

## ◆WIN（Worldwide Independent Network Of Market Research）

2007年に設立された、独立系調査会社のネットワークです。

現在世界のおよそ40カ国・地域でメンバーを持ち、世界の多くの国で世論調査や市場調査を実施しています。

## ◆株式会社日本リサーチセンター（NRC）

1960年に設立された民間の調査研究機関です。

民間企業、官公庁からの受託調査・研究及び自主企画調査を国内外問わず実施しています。

WINの設立に参加し、日本で唯一の代表として加盟しています。

**1) 自身の現在の経済状況について、36カ国・地域平均は「生活が苦しい」(36%)が「生活には余裕がある」(25%)を上回っている。日本でも「生活が苦しい」(34%)は「生活には余裕がある」(20%)を上回る。**

- 「生活には余裕がある」の割合の大きい順に並べてみると、上位3カ国はインド、フィリピン、フィンランド。一方、下位3カ国は、ポーランド、ケニア、セルビア。日本は20%で36カ国・地域中20位。

**2) 物価上昇による生活状況の変化について、36カ国・地域平均は「過去数か月で、支出を減らした」が48%と最も高い。一方、日本では「今後数か月で、なるべく支出を減らすつもり」(45%)が最も高い。**

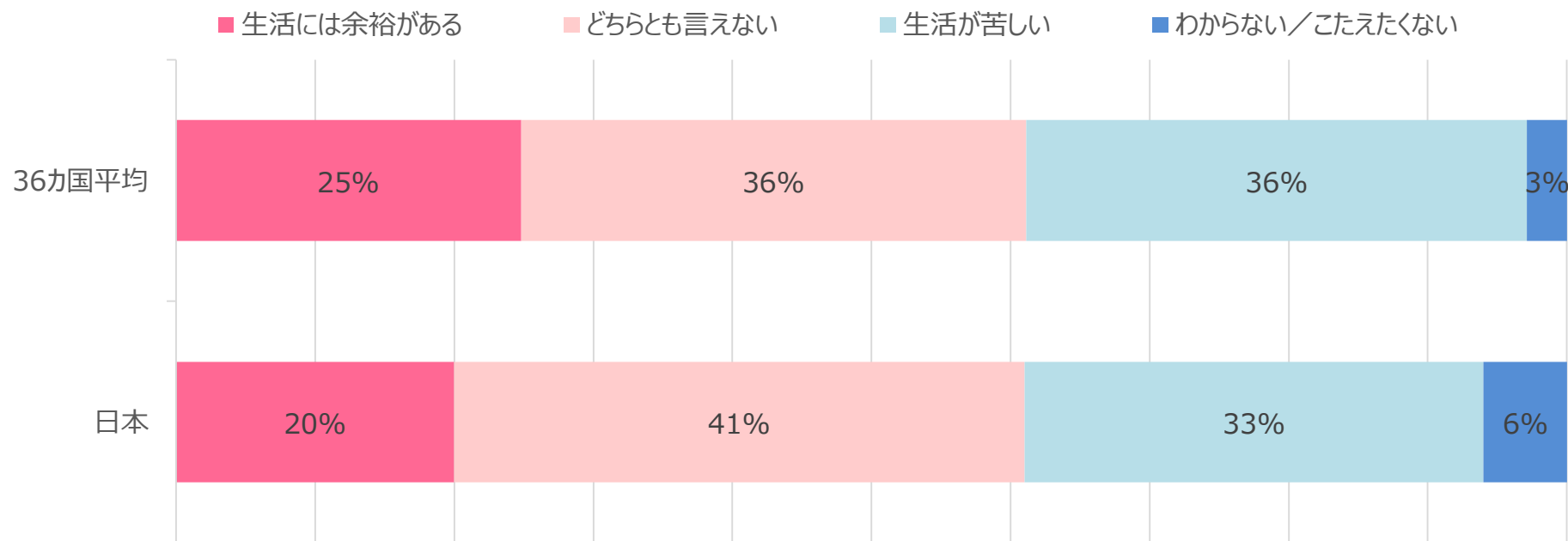
- 「過去数か月で、支出を減らした」の割合の大きい順に並べてみると、上位3カ国はギリシャ、アイルランド、レバノン。一方、下位3カ国は、エクアドル、韓国、日本。
- 日本では「生活に余裕がある」という回答は20%で36カ国・地域中20位だったが、すでに「支出を減らした」という回答は36カ国・地域中最下位である一方、「今後数か月で、なるべく支出を減らす」という回答が36カ国・地域中トップのため、物価上昇の影響は2023年に実感が強くなると考えられる。

**自身の現在の経済状況について、36カ国・地域平均は「生活が苦しい」(36%)が「生活には余裕がある」(25%)を上回っている。**

**日本でも「生活が苦しい」(34%)は「生活には余裕がある」(20%)を上回る。**

- 自身の現在の経済状況について聞いたところ、36カ国・地域平均では「生活には余裕がある」の回答の割合が25%、「生活が苦しい」が36%、「どちらともいえない」が36%。
- 日本でも「生活には余裕がある」が20%、「生活が苦しい」が33%だが、「どちらともいえない」が41%と最多。

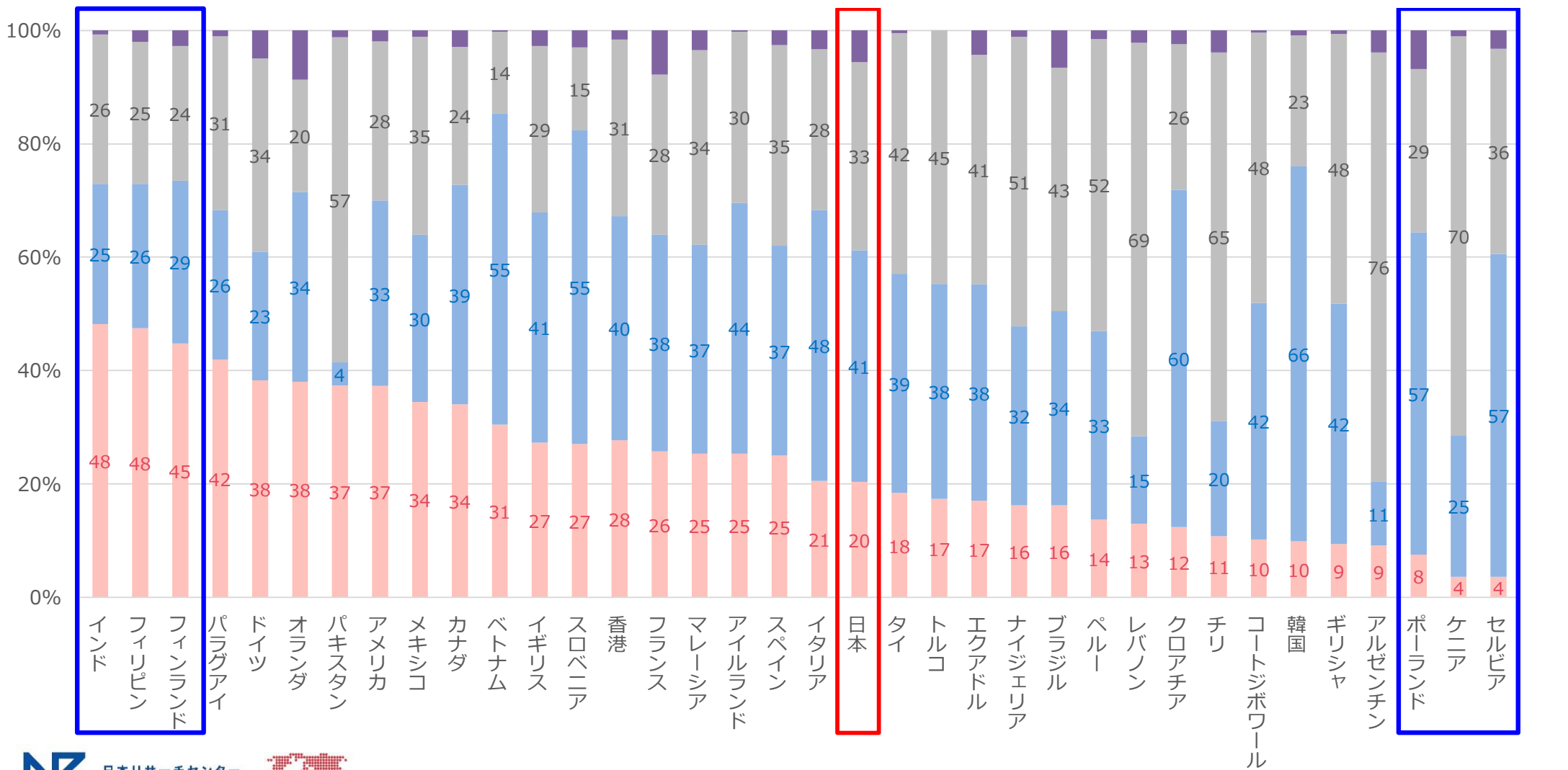
■ 以下のうち、あなたの現在の経済状況に最も近いものを選んでください。(ひとつだけ) (単数回答)



(%)

- 「生活には余裕がある」の割合の大きい順に並べてみると、上位3カ国はインド、フィリピン、フィンランド。一方、下位3カ国は、ポーランド、ケニア、セルビア。
- 日本は20%で36カ国・地域中20位。

■ 各国の『生活には余裕がある』の回答割合の順（割合の大きい順に並べ替え）※36カ国・地域平均:25%

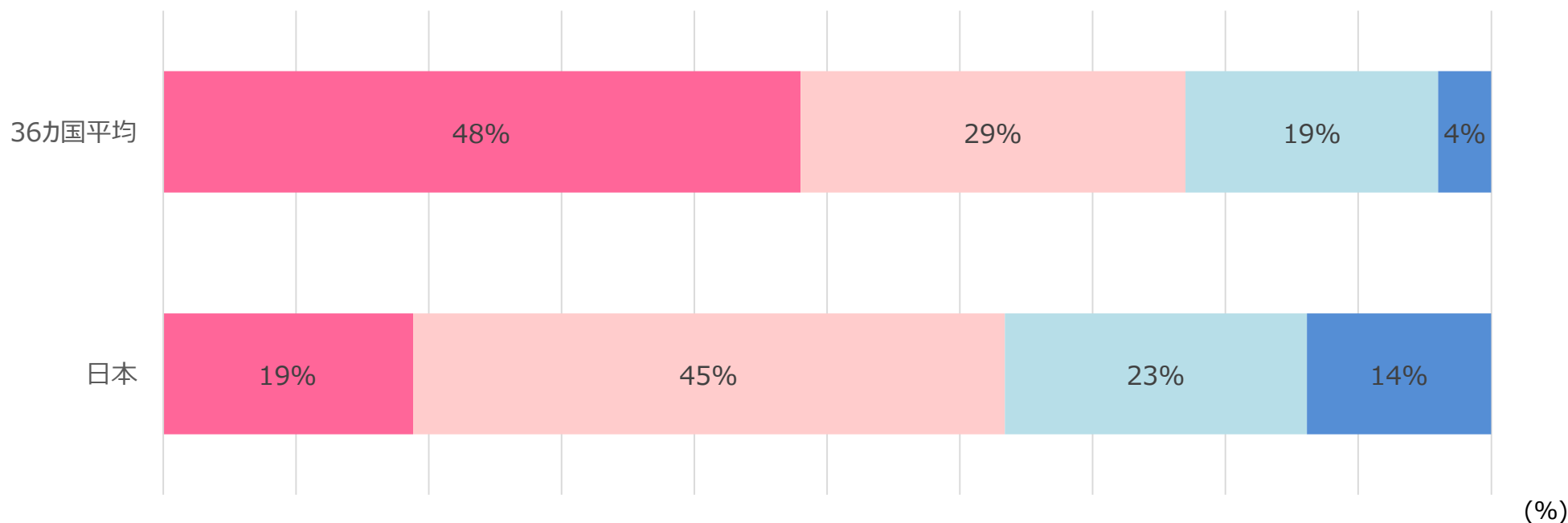


物価上昇による生活状況の変化について、36カ国・地域平均は「過去数か月で、支出を減らした」が48%と最も高い。一方、日本では「今後数か月で、なるべく支出を減らすつもり」(45%)が最も高い。

- 物価の上昇の結果、自身の生活状況が変化したか聞いたところ、36カ国・地域平均では「過去数か月で、支出を減らした」の回答の割合が48%で、「今後数か月で、なるべく支出を減らすつもり」(29%)や「今後数ヶ月で、支出を減らすつもりはない」(19%)の回答の割合を上回る。
- 一方日本では、「今後数か月で、なるべく支出を減らすつもり」が45%で最多であり、「過去数か月で、支出を減らした」(19%)や「今後数ヶ月で、支出を減らすつもりはない」(23%)を上回る。

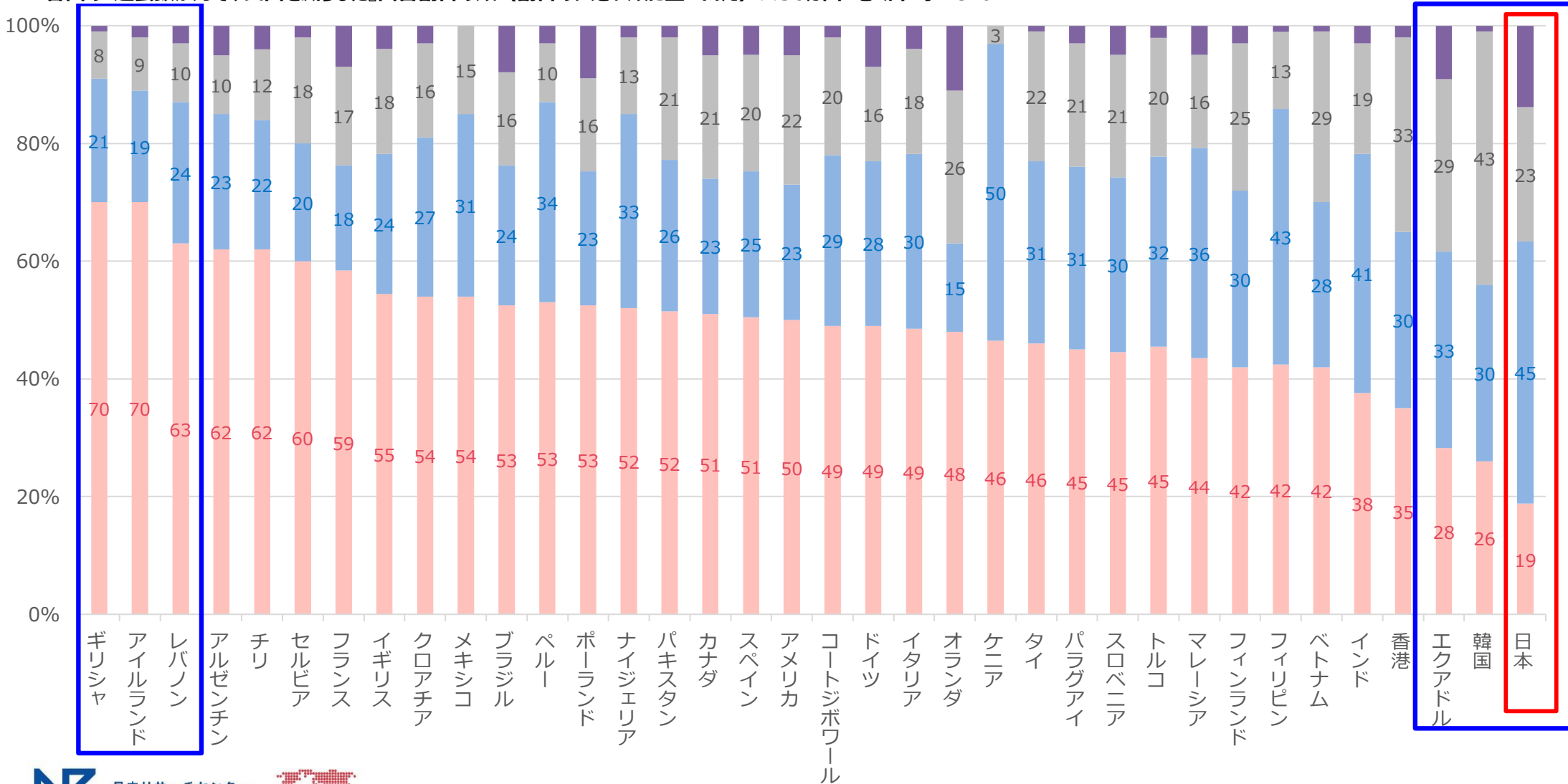
■ 物価が上昇した結果、あなたの生活状況はどのように変化しましたか。最も近いものを選んでください。(単数回答)

■ 過去数ヶ月で、支出を減らした      ■ 今後数ヶ月で、なるべく支出を減らすつもり  
■ 今後数ヶ月で、支出を減らすつもりはない    ■ わからない／こたえたくない



- 「過去数か月で、支出を減らした」の割合の大きい順に並べると、上位3カ国はギリシャ、アイルランド、レバノン。一方、下位3カ国は、エクアドル、韓国、日本。
- 日本は36カ国・地域中最下位で、2割未満の国・地域は日本のみ。日本では「生活に余裕がある」という回答は20%で36カ国・地域中20位だったが、すでに「支出を減らした」という回答は36カ国・地域中最下位である一方、「今後数か月で、なるべく支出を減らす」という回答が36カ国・地域中トップのため、物価上昇の影響は2023年に実感が強くなると考えられる。

■各国の「過去数か月で、支出を減らした」回答割合の順（割合の大きい順に並べ替え）※36カ国・地域平均:48%



- 36カ国・地域の内訳と各国の調査手法およびサンプルサイズ

調査手法：面接調査、電話調査、インターネット調査  
 調査対象：18歳以上の個人  
 実施期間：2022年10月～12月

地域	国	サンプルサイズ
アジア	日本	1236
	インド	1000
	タイ	500
	パキスタン	1000
	フィリピン	1001
	ベトナム	800
	マレーシア	1003
	香港	501
	韓国	1549
北米	アメリカ合衆国	1000
	カナダ	1000
中南米	アルゼンチン	621
	エクアドル	620
	チリ	1004
	パラグアイ	501
	ブラジル	1000
	ペルー	1003
	メキシコ	535

- 日本の調査仕様および属性別調査サンプルサイズ

調査方法：インターネット調査  
 調査対象：全国の18～79歳男女個人 1,236人  
 実施期間：2022年11月15日～22日

地域	国	サンプルサイズ
中東	トルコ	708
	レバノン	500
アフリカ	ケニア	500
	コートジボワール	508
	ナイジェリア	1003
州欧	アイルランド	1015
	イギリス	1018
	イタリア	1001
	オランダ	1011
	ギリシャ	500
	クロアチア	540
	スペイン	1006
	スロベニア	501
	セルビア	520
	ドイツ	1000
	フィンランド	1042
	フランス	1000
	ポーランド	509

36カ国合計サンプル数(ノンウェイト)	29,756
---------------------	--------



## 《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：(株) 日本リサーチセンター広報室

WIN・ワールドワイド・サーベイ2022担当

メール：[information@nrc.co.jp](mailto:information@nrc.co.jp)

本リリースの引用・掲載の際は、必ず「日本リサーチセンター／WIN（Worldwide Independent Network Of Market Research）調べ」とクレジットを明記してください。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットを掲載してください。